

発行日：2016年05月27日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称：ラピックス#750

製品番号(SDS NO)：0P014001-3

供給者情報詳細

供給者：山一化学工業株式会社

住所：東京都台東区上野1-10-12(商工中金・第一生命上野ビル10F)

担当部署：生産本部那須工場技術部

電話番号：03-3832-8121

FAX：03-3835-3820

緊急連絡先電話：0287-98-2780

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

GHS分類区分に該当せず

想定される非常事態の概要

常温において自己反応性はないが、高温(250-400℃)になると樹脂が分解し、二酸化炭素、一酸化炭素、窒素酸化物等の分解ガスが発生するので、溶融樹脂は速やかに水で冷却すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：

混合物

成分名	含有量(%)	CAS No.	化審法番号
ポリエチレン	60-70	9002-88-4	6-1
ステアリン酸マグネシウム	1-5	557-04-0	2-611
その他添加剤	30-40	-	-

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

高温の溶融樹脂から発生するガスをひどく吸入した時は新鮮な空気のある場所に移ること。咳、呼吸困難やその他の症状が出た時は医師の手当を受ける。

皮膚(又は髪)に付着した場合

ペレットや粉末の場合は、石鹼・水で洗い流しておく。溶融物が付着した場合には、衣服の上から大量の水をかけ十分に冷却し、衣類を脱がせ医師の手当てを受ける。

眼に入った場合

危険な物質ではないが、眼球を傷つける可能性があるので清浄な水で十分に洗い流す。

飲み込んだ場合

危険な物質ではないが、出来るだけ吐き出し、異常を感じるようであれば医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

粉末消火器、炭酸ガス、乾燥砂

一般火災と同じ消化方法を用いる。火災時には、熱分解や不完全燃焼により、黒煙と有害な一酸化炭素等の揮発分を含有するガスを発生するので注意する。

消火を行う者への勧告

消火を行う者の保護

防火服や耐火服を着用する。

断熱手袋や保護眼鏡等を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

漏洩した場合、漏洩物を回収する。作業には適切な保護具を着用する。

スリップ等による危険を防ぐため、清掃除去する。

排水系などの水面へ漏出した場合、鳥類、魚類等、環境への悪影響があるので、全て回収する。

二次災害の防止策

排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

すべての発火源を取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)

漏洩物を取り扱うとき用いる全ての設備は接地する。

関係者以外は近づけない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

蒸気を吸入してはならない。

安全取扱注意事項

換気のよい場所で使用する。

必要な保護具を着用する。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

直射日光を避ける。

冷暗所にて保管

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

許容濃度

(ステアリン酸マグネシウム)

ACGIH(1985) TWA: 10mg/m³ (上気道, 眼および皮膚刺激)

ばく露防止

保護具

呼吸用保護具

樹脂製品の機械加工など粉じんの発生する作業の時には、防塵マスクを着用する。発生ガスの濃度が高い場所で作業する場合は、有機ガス用マスクを着用する。

手の保護具

ペレットを扱うときは特に必要ないが、溶融樹脂を取り扱う時は、断熱性のよい手袋を着用する。

眼の保護具

樹脂製品の機械加工など粉じんの発生する作業の時には、樹脂製の保護眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具

通常の作業着でよいが、溶融樹脂を取り扱う場合は長袖の作業着を着用する。

衛生対策

この製品を使用する時は、飲食または喫煙をしてはならない。
取り扱い後はよく手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状态

形状：ペレット状

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

初留点/沸点：知見なし

引火点：知見なし

比重/密度：知見なし

溶解度

水に対する溶解度：不溶

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

予期される通常の保管および取り扱いの条件において安定と考えられる。

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

局所効果

眼に対する重篤な損傷・刺激性

[日本公表根拠データ]

(ステアリン酸マグネシウム)

ヒト 眼刺激性 (ACGIH, 2001)

発がん性

(ポリエチレン)

IARC-Gr.3：ヒトに対する発がん性については分類できない

(ステアリン酸マグネシウム)

ACGIH-A4(1985)：ヒト発がん性因子として分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

水溶解度

(ステアリン酸マグネシウム)

溶けない (ICSC, 2001)

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

廃棄物は、許可を受けた、産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さない。

排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託をする。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類
国連番号に該当しない

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

有機溶剤等に該当しない製品

名称表示危険/有害物(令18条)

ステアリン酸マグネシウム

名称通知危険/有害物(第57条の2、令第18条の2別表9)

ステアリン酸マグネシウム

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法

指定可燃物

合成樹脂類_その他のもの(届出数量 3,000kg)

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit., 2013 UN

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)

2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)

2015 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 (2012年)

Supplier's data/information

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。